

平成 21 年 9 月 8 日

1号機タービン建屋における油漏れについて

東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

< 概要 >

(事象の発生状況)

- ・平成 21 年 9 月 7 日、1号機において、タービンを設置している建物の3階の空調用設備室で、潤滑油が約9リットル漏れていることを当社社員が確認しました。その際、潤滑油の漏れは既に停止していました。
- ・消防本部による現場確認の結果、「危険物の漏えい」と判断されました。
- ・漏れた油については、拭き取り等により処理しています。

(今後の対応)

- ・原因について調査します。

(安全性、外部への影響)

- ・プラントの安全性に問題はありません。
- ・外部への放射能の影響はありません。

(公表区分)

- ・本事象は公表区分（信頼性向上のために公表する事象）としてお知らせするものです。

詳細は以下のとおりです。

1 . 事象の発生状況

平成 21 年 9 月 7 日午前 10 時 25 分頃、運転中の 1 号機タービン建屋 3 階の空調用設備室（管理区域^{*1}）において、協力企業作業員が 2 台ある中央制御室換気空調系^{*2}冷凍機のうち、停止中の予備機の補修作業を行っていたところ、当該冷凍機の配管より潤滑油が漏れ出しました。

当社社員が現場を確認した結果、漏れた油の量は約 9 リットルで、潤滑油の漏れは既に停止していました。

なお、漏れた潤滑油に放射性物質は含まれておりませんでした。潤滑油とともに、冷凍機の冷媒（フロン）が漏れ出したことを確認しました。

本事象については、午前 11 時 3 分頃に消防本部に連絡し、その後、消防本部による現場確認の結果、「危険物の漏えい」と判断されました。

漏れた油については、消防本部の現場確認が終了した後、拭き取り等により処理しています。

2 . 今後の対応

今後、原因について調査します。

3 . 安全性、外部への影響

本事象によるプラントへの安全性に問題はありません。

また、外部への放射能の影響はありません。

以 上

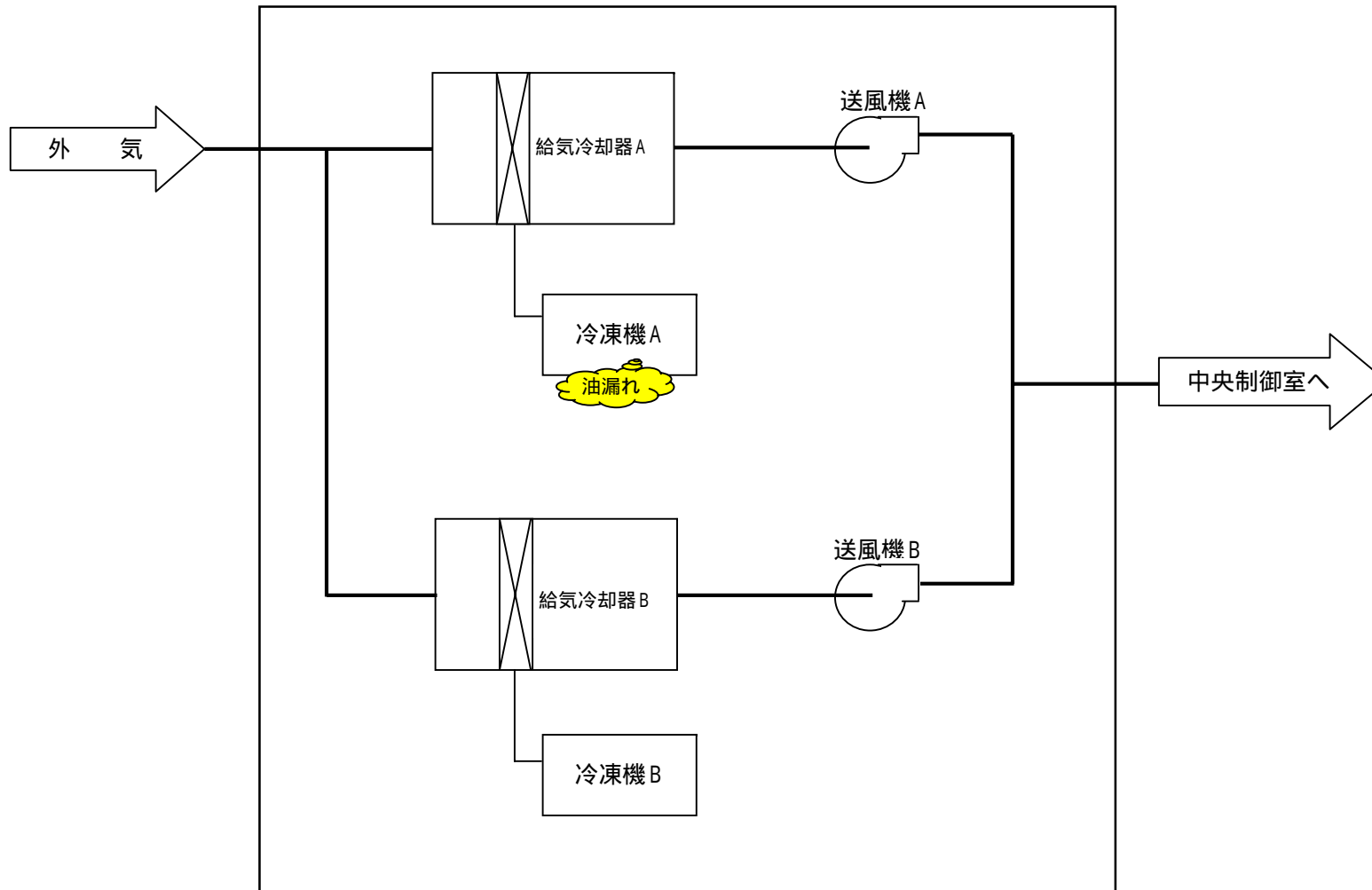
* 1 管理区域

放射線による無用な被ばくを防止するため、また、放射性物質による放射能汚染の拡大防止をはかる管理を必要とする区域。

* 2 中央制御室換気空調系

中央制御室内の換気および温度調節を行う設備。

タービン建屋 3階 空調用設備室



中央制御室換気空調系 設備概略図